

付属資料 3 : 調査票

山形県における三世代同居・近居に関するアンケート調査

～山形県は三世代同居・近居で支え合う暮らしを応援します～



2016年9月

(企画) 山形県子育て推進部子育て支援課
(実施) 第一生命保険株式会社 山形支社
(分析) 株式会社第一生命経済研究所

【お問い合わせ先】

山形県子育て推進部子育て支援課
須藤 (Tel.023-630-2668)
第一生命保険株式会社 山形支社
藤木・竹山 (Tel.023-631-5771)

山形県では、祖父母世代による子どもの見守りなどを「子育てを支える力」のひとつとしてとらえ、三世代家族が互いに支え合う暮らしを応援しております。このたび、その一環として「山形県における三世代同居・近居に関するアンケート調査」を実施することいたしました。

この調査は、県民の皆さまを対象に子育てや孫育て・働き方等についてお聞きし、それらが三世代同居・近居とどのような関連がみられるのかを分析するために行うものです。

山形県と第一生命保険は、「やまがた創生」及び「一億総活躍社会」の推進をはかるため、今年2月に、包括連携協定を締結しており、同協定に基づいて、今回の調査は山形県が実施主体となり、第一生命保険が調査票の配布・回収・集計を、第一生命経済研究所が分析をそれぞれ担当します。

つきましては、調査への回答のご協力を賜りますようお願いいたします。

【調査の概要】

●調査をお願いする方

- ◎ 県内にお住まいの18歳未満のお子さんがいらっしゃる方
または
- ◎ 県内にお住まいの18歳未満のお孫さんがいらっしゃる方

●調査の期間

2016年9月上旬以降、第一生命保険の職員がお伺いし、調査へのご協力をお願いいたします

●調査の方法

留置法
(自記式で記入していただき、第一生命保険の職員が回収いたします)

●調査結果の公表

調査結果は今年度中に公表する予定です

※本アンケートの内容には、個人を特定する情報は一切含まれておりません。お答えいただいた内容が外部に流出することはありませんので、安心してお答えください。

[Q1～Q6は、18歳未満の“お子さん”がいいらっしゃる方のみお答えください]

Q1 ご自身又は配偶者の親との住まいについてお聞きます。(〇はいくつでも)

1. 夫の親と同居
2. 夫の親と近居(直線距離で片道おおむね2km以内)
3. 妻の親と同居
4. 妻の親と近居(直線距離で片道おおむね2km以内)
5. 同居・近居はしていない。 → Q5へお進みください。

同居・近居している方(Q1で1～4とお答えの方)

Q2 同居・近居をしたきっかけは何ですか。(〇はいくつでも)

1. 自身又は配偶者と結婚前から引き続き同居・近居している
2. 結婚をきっかけに同居・近居した
3. 子どもの誕生をきっかけに同居・近居した
4. 子どもの入学・進学をきっかけに同居・近居した
5. 自身又は配偶者の就業をきっかけに同居・近居した
6. 親の介護が必要になったため同居・近居した
7. 自宅又は親の住宅の購入をきっかけに同居・近居した
8. その他(自由記述)

同居・近居している方(Q1で1～4とお答えの方)

Q3 親から受けている子育ての支援は何ですか。(〇はいくつでも)

1. 子どもの相手・預かり(日常的に)
2. 子どもの相手・預かり(急用などのとき)
3. 子どもの送り迎え
4. 教育やしつけの支援
5. 家事の手伝い
6. 金銭的な援助
7. 物資での支援
8. ほとんどない
9. その他(自由記述)

同居している方(Q1で「1」または「3」とお答えの方)

Q4 同居をしていて気をつけていることはありますか。(〇はいくつでも)

1. お互いの生活スタイルにあまり干渉しない
2. アドバイスは素直に聞き入れる
3. 育児支援などに対する感謝はしっかり伝える
4. お互いの生活リズムを尊重する
5. 家事などの役割分担を明確にする
6. 予定は事前に伝える
7. その他(自由記述)
8. 特にない

同居・近居していない方(Q1で「5」とお答えの方)

Q5 家族との住まい方として、次のどの住まい方が理想だと思いますか。(〇は1つ)

1. 夫の親との同居が好ましい
2. 妻の親との同居が好ましい
3. 夫の親との近居が好ましい
4. 妻の親との近居が好ましい
5. 同居も近居も好ましいと思わない
6. その他(自由記述)

Q5で好ましいと思う方(Q5で1～4とお答えの方)

Q6 同居・近居が好ましいと思うのに、現在、実現していないのはなぜですか。(〇はいくつでも)

1. 自身又は配偶者の仕事の関係で同居・近居が困難
 2. 同居・近居のための住宅を用意することが困難
 3. 同居・近居を親が望んでいない
 4. 現在同居している家族(配偶者・子ども等)の理解が得られない
 5. いずれ同居・近居したいと思っているが、まだその時ではない。
 6. 子どもの教育の関係で同居・近居が困難である
 7. その他(自由記述)
- 4ページにお進みください。

【Q1～Q6は、18歳未満の“お孫さん”がいいらっしゃる方のみお答えください】

- Q1 ご自身の息子・娘世帯との住まいについてお聞きします。(○は1つ)
最も近くに住んでいる世帯についてお答えください。
1. 息子の世帯と同居
 2. 息子の世帯と近居(直線距離で片道おおむね2km以内)
 3. 娘の世帯と同居
 4. 娘の世帯と近居(直線距離で片道おおむね2km以内)
 5. 同居・近居はしていない。

同居・近居している方(Q1で1～4とお答えの方)

- Q2 同居・近居をしたきっかけは何ですか。(○はいくつでも)
1. 息子・娘が独身の頃から引き続き同居・近居している
 2. 息子・娘の結婚をきっかけに同居・近居した
 3. 孫の誕生をきっかけに同居・近居した
 4. 孫の入学・進学をきっかけに同居・近居した
 5. 息子・娘又はその配偶者の就業をきっかけに同居・近居した
 6. 自身又は配偶者の介護が必要になったため同居・近居した
 7. 自宅又は息子・娘の住宅の購入をきっかけに同居・近居した
 8. その他(自由記述)

同居・近居している方(Q1で1～4とお答えの方)

- Q3 息子・娘世帯に対して行っている子育ての支援は何ですか。(○はいくつでも)
1. 孫の相手・預かり(日常的に)
 2. 孫の相手・預かり(急用などのとき)
 3. 孫の送り迎え
 4. 教育やしつけの支援
 5. 家事の手伝い
 6. 金銭的な援助
 7. 物資での支援
 8. ほとんどない
 9. その他(自由記述)

同居している方(Q1で「1」または「3」とお答えの方)

- Q4 同居をされていて気をつけていることはありますか。(○はいくつでも)
1. お互いの生活スタイルにあまり干渉しない
 2. 育児に対する息子・娘夫婦の考え方を尊重する
 3. 自分の意見・考えを押し付けない
 4. お互いの生活リズムを尊重する
 5. 家事などの役割分担を明確にする
 6. 予定は事前に伝える
 7. その他(自由記述)
 8. 特にない

同居・近居していない方(Q1で「5」とお答えの方)

- Q5 家族との住まい方として、次のどの住まい方が理想だと思いますか。(○は1つ)
1. 息子の世帯との同居が好ましい
 2. 娘の世帯との同居が好ましい
 3. 息子の世帯との近居が好ましい
 4. 娘の世帯との近居が好ましい
 5. 同居も近居も好ましいと思わない
 6. その他(自由記述)

Q5で好ましいと思う方(Q5で1～4とお答えの方)

- Q6 同居・近居が好ましいと思うのに、現在、実現していないのはなぜですか。(○はいくつでも)
1. 息子・娘又は配偶者の仕事の関係で同居や近居が困難
 2. 同居・近居のための住宅を用意することが困難
 3. 同居・近居を息子・娘が望んでいない
 4. 現在同居している家族(配偶者等)の理解が得られない
 5. いずれ同居・近居したいと思っているが、まだその時ではない。
 6. 孫の教育の関係で同居・近居が困難である
 7. その他(自由記述)

【このページの設定(Q7-1～Q9)は、すべての方がお答えください】

Q7-1 三世代同居には、どのようなメリットがあると思いますか。(〇はいくつでも)

※同居していない方もイメージでお答えください。

1. 親子で助け合いながら生活できる
2. 親が老後に安心感を得られる
3. 子が自分の親の老後に安心感を与えられる
4. 息子・娘世代が親世代から子育てや支援を得られる
5. 祖父母が孫の成長を見守ることができる
6. 祖父母とのふれあいが孫の成長によい
7. 生活が経済的である
8. その他(自由記述)
9. 特にない

)

Q7-2 三世代同居には、どのようなデメリットがあると思いますか。(〇はいくつでも)

※同居していない方もイメージでお答えください。

1. 人間関係の面で気を使う
2. 世代間に生活習慣や価値観の違いがある
3. 親の老後の面倒を見ることが子の負担になる
4. 住宅が手狭になる
5. 孫の世話が体力的に大変
6. 子育てに対する考え方の違いがある
7. その他(自由記述)
8. 特にない

)

Q8-1 三世代近居には、どのようなメリットがあると思いますか。(〇はいくつでも)

※近居していない方もイメージでお答えください。

1. 親子で助け合いながら生活できる
2. 親が老後に安心感を得られる
3. 子が自分の親の老後に安心感を与えられる
4. 息子・娘世代が親世代から子育てや支援を得られる
5. 祖父母が孫の成長を見守ることができる
6. 祖父母とのふれあいが孫の成長によい
7. 生活が経済的である
8. その他(自由記述)
9. 特にない

)

Q8-2 三世代近居には、どのようなデメリットがあると思いますか。(〇はいくつでも)

※近居していない方もイメージでお答えください。

1. 人間関係の面で気を使う
2. 世代間に生活習慣や価値観の違いがある
3. 親の老後の面倒を見ることが子の負担になる
4. 生活が経済的でない
5. 孫の世話が体力的に大変
6. 子育てに対する考え方の違いがある
7. その他(自由記述)
8. 特にない

)

Q9 三世代同居・近居など三世代による家族の絆で支え合う暮らしの促進に向けて、行政に望む施策はありますか。(〇はいくつでも)

1. 同居・近居に対して積極的になれる社会気運の醸成
 2. 同居・近居のための住宅取得・リフォーム費用補助の強化
 3. 同居・近居に対する税制上の優遇措置(固定資産税への補助など)
 4. 同居・近居住まいの月額家賃への補助
 5. 祖父母世代が孫育てをしやすい環境の整備(孫を連れて行ける施設の充実など)
 6. 安心して介護ができる環境づくり
 7. その他(自由記述)
 8. 分からない
 9. 行政の支援は必要ない
- お孫さんがいらっしゃる方は6ページへお進みください。

)

【このページの設問(Q10~Q14)は、18歳未満の“お子さん”がいらっしゃる方のみお答えください】

【現在お仕事をされている方は、現在の職場についてお答えください】

※お仕事をされていない方は、イメージでお答えください

Q10 あなたは職場の管理職や役員の要請を受けた場合、それを引き受けますか。(○は1つ)

1. 引き受ける
2. 家族に相談して決める
3. 断る
4. わからない

Q10で断ると答えた方(Q10で「3」とお答えの方)

Q11 要請を断る理由は何ですか。(○はいくつでも)

1. 責任を果たせるだけの自信がないから
2. 責任のある役は引き受けたくないから
3. 自分や家族の負担が増えるから
4. 家庭での生活時間が減ることになると思うから
5. その他(自由記述)

【配偶者については、配偶者がいらっしゃる方のみお答えください】

Q12 あなた、および配偶者の方は、平日及び休日1日当たり、次の事柄にどのくらい時間をかけていますか。10分単位でお答えください。

| | 本人 | | 配偶者 | |
|------------------------------------|----|----|-----|----|
| | 平日 | 休日 | 平日 | 休日 |
| 1. 仕事 | | | | |
| 2. 通勤時間(往復に要する時間) | | | | |
| 3. 家事 | | | | |
| 4. 子育て・教育(保育園・習い事の送迎や学校行事等への参加を含む) | | | | |
| 5. 介護・看護 | | | | |

【配偶者がいらっしゃる方のみお答えください】

Q12-1 あなたの配偶者は、ふだん、次のような家事や子育て・教育等を行いますか。(○はいくつでも)

1. 食事の支度や後片付け
2. 掃除
3. 洗濯
4. 急用などの場合の子どもの預かり・見守り
5. 子どもの保育園・学校の送迎
6. 子どもの習い事等の送迎
7. 子どもの保育園・学校行事等への参加
8. その他の家事(1、2、3以外)(自由記述)
9. その他の子育て・教育(4、5、6、7以外)(自由記述)
10. どれもしていない

【すべての方がお答えください】

Q12-2 あなたは、ふだん、次のような家事や子育て・教育等を親に頼ることがありますか。(○はいくつでも)

1. 食事の支度や後片付け
2. 掃除
3. 洗濯
4. 急用などの場合の子どもの預かり・見守り
5. 子どもの保育園・学校の送迎
6. 子どもの習い事等の送迎
7. 子どもの保育園・学校行事等への参加
8. その他の家事(1、2、3以外)(自由記述)
9. その他の子育て・教育(4、5、6、7以外)(自由記述)
10. どれもしていない

【すべての方がお答えください】

Q13 女性が家庭の外で働くことについて、あなたはどのように思いますか。(○は1つ)

1. 子どもができてみずっと働き続ける方がよい
2. 子どもができたなら仕事をやめ、大きくなったら再び働いた方がよい
3. 子どもができるまでは働いた方がよい
4. 結婚するまでは働いた方がよい
5. 女性は働かない方がよい
6. その他(自由記述)
7. わからない

【すべての方がお答えください】

Q14 あなたは、家庭生活、仕事、地域活動のそれぞれに関わり、バランスのとれた生活を過ごしていると思いますか。

- (○は1つ)
1. そう思う
 2. どちらかと言えばそう思う
 3. どちらとも言えない
 4. どちらかと言えばそう思わない
 5. そう思わない
- 7ページへお進みください。

Q15 孫とふれあう機会は何のくらいですか。(○は1つ)

1. 毎日又はほぼ毎日
2. 週に数日
3. 月に数日
4. 年に数日
5. 全くない

孫とふれあう機会がある方(Q15で「1～4」とお答えの方)

Q16 あなたにとって孫とふれあうの時間とはどのようなものですか。(○は1つ)

1. 一番の楽しみで生きがい
2. 生活の中での楽しみの一つ
3. 日常の中の一場面で特別なものではない
4. 負担を感じることもある
5. その他(自由記述)

【すべての方がお答えください】

Q17 仮に孫とふれあう機会が年に数日しかない場合、あなたはどのように感じますか。(○はいくつでも)

1. ふれあう機会が少ないのはさみしい
2. 孫の成長の過程をもっと見たい
3. 孫との意思の疎通が難しくなる
4. その程度がちょうどいい
5. 負担がなくていい
6. その他(自由記述)

【すべての方がお答えください】

Q18 あなたはどのような時に生きがい・幸福感を感じますか。(○はいくつでも)

1. 家事・育児など家族の世話をしているとき
2. 仕事をしているとき
3. 各種講座などで教養を磨いたり学習をしているとき
4. ボランティアや地域活動をしているとき
5. 趣味活動やスポーツをしているとき
6. 一人で過ごすとき
7. 配偶者と一緒に過ごすとき
8. 家族と一緒に過ごすとき
9. 友人や仲間と過ごすとき
10. その他(自由記述)
11. 生きがい・幸福感を感じることはない

【すべての方がお答えください】

Q19 孫を含めた地域の子供達にあなたがしてあげたいことはありますか。(○はいくつでも)

1. 地域の中で子供達が安全に暮らせるようにしたい
2. 子供達に遊びや自分の技を教えたい
3. 子供達に伝統料理や自分の知識を伝えたい
4. 地域の歴史や文化を伝えたい
5. その他(自由記述)
6. 特にない

【すべての方がお答えください】

Q20 あなたの健康状態を教えてください。(○は1つ)

1. 健康で通院もしていない
2. 月に1回以上のペースで通院している
3. 月に1回未満のペースで通院している
4. 介護が必要
5. その他(自由記述)

【設問(F1~F11)は、すべての方がお答えください】

F1 あなたの年代をお答えください

1. 20代以下
2. 30代
3. 40代
4. 50代
5. 60代
6. 70代以上

F2 あなたの性別をお答えください(○は1つ)

1. 男性
2. 女性

F3 配偶者の有無についてお答えください(○は1つ)

1. 配偶者がいる
2. 配偶者はいない

F4 同居家族についてお答えください(○はいくつでも)

1. ひとり暮らし
2. 配偶者
3. 子ども
4. 子どもの配偶者
5. あなたの父親
6. あなたの母親
7. 配偶者の父親
8. 配偶者の母親
9. あなた・配偶者の祖父母
10. あなた・配偶者の兄弟姉妹
11. あなたの孫
12. その他(自由記述)

F5 お子さんについてお答えください。(同居していないお子さんも含みます。)(○は1つ)

1. 子どもはいない
2. 1人
3. 2人
4. 3人
5. 4人
6. 5人以上

F6 お子さんの学齢をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園・保育園に入る前
2. 幼稚園児・保育園児
3. 小学生
4. 中学生
5. 高校生
6. 大学生
7. 学卒・社会人

F7 お孫さんについてお答えください。(同居していないお孫さんも含みます。)(○は1つ)

1. 孫はいない
2. 1人
3. 2人
4. 3人
5. 4人
6. 5人以上

F8 お孫さんの学齢をお答えください。(○はいくつでも)

1. 幼稚園・保育園に入る前
2. 幼稚園児・保育園児
3. 小学生
4. 中学生
5. 高校生
6. 大学生
7. 学卒・社会人

F9 あなたのお仕事をお答えください

1. 自営
2. 会社経営者・役員
3. 会社員(正社員)・公務員
4. パート・アルバイト
5. 専業主婦(夫)
6. 無職
7. 学生
8. その他(自由記述)

F9で会社員・公務員の方

F10 あなたの職場での役職をお答えください

1. 管理職(会社・官公庁の課長級以上など)
2. 専門技術職(医師、教師、税理士、看護師など)
3. 事務職(会社等の事務担当者)
4. 販売職、サービス職(営業担当、販売員)
5. 運転・通信職、保安職(運転手、警備員、消防士など)
6. 製造職、建設職、農業職(工場労働者、建設作業員、農林漁業作業員)
7. その他(自由記述)

F11 あなたのお住まいの市町村をお答えください

()

山形県における三世代同居・近居に関する
アンケート調査 報告書

2017（平成 29）年 3 月

山 形 県 子 育 て 推 進 部
第一生命保険株式会社 山形支社
株式会社 第一生命経済研究所